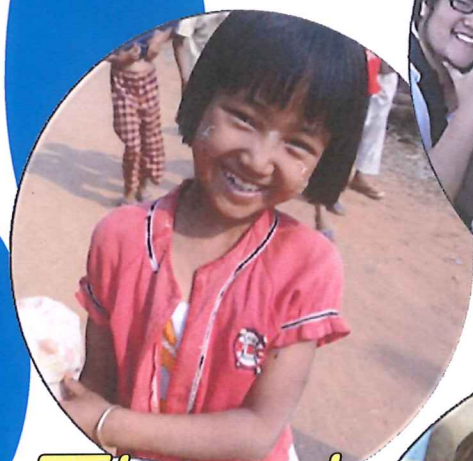




認定NPO法人 地球市民の会



Thank you
for 30 years



平成24年度活動報告書

Annual Report 2012 2012.4~2013.3



Accountability Self Check 2008

従来の事業を発展させ、新規事業も徐々に形になってきました。

◆ ミャンマーで国際協力機構(JICA)委託事業が開始されました。

JICA 技術協力草の根パートナー型の 3 ヶ年計画の「循環型共生社会の自立発展」事業が始まりました。コミュニティ・ビジネスをベースにしながら持続発展的に循環型農業を定着させていこうとするプログラムです。現地の方の自立が目標ですが「成果を達成しプロジェクトを終わらせる」という日本の国際協力 NGO が今一番求められていることに対して挑戦していきます。日本での地方の村の 6 次産業化とよく似ています。インレー湖循環化事業では、3 ヶ村で 15,000 本の植林も行いました。

◆ スリランカ・シショダヤ奨学生招聘事業。

8 月下旬にスリランカ南部の都市・ゴールのサンガミッタ女子学校の奨学金を受給されている高校生 5 名と引率の先生 1 名を招聘しました。公募の実行委員会形式で行い日本の高校生、大学生～社会人まで幅広い人が参画しました。佐賀県立佐賀北高校や伊万里市川内野集落など、たくさんの方々も関わっていただきました。また、佐賀市の住民税の 1 %を NPO に市民の意思とまごころで寄付するしくみ「チカラット」で佐賀市民からも 30 万円のご支援をいただきました。次回は来年の予定です。

◆ タイ奨学金事業リニューアルプランが策定。

1 月にタイの地球市民の会のパートナーであるスラポン先生と奨学金事業の総括と今後について対話を重ね、「タイ東北部の貧困な子どもを貧困の輪から脱却させ、子どもたちの未来を拓く」という今後の方向性が固まりました。新事業としてジョムシー小学校図書館プロジェクトを 12 月に実施しました。

◆ ふるさとステイキャンプ(中山間地元気再生事業)の実施

子どものキャンプの受け入れが中山間地の活性化に寄与できるかの社会実験を 7 月下旬から 8 月の中旬にかけて実施しました。佐賀県・福岡県内より小学生 1 年生～6 年生まで 80 名の参加がありました。地元の方や、会員、一般・学生ボランティアのご協力で実施しました。福島県の被災地の小学生を招聘する事業とも連動しました。

◆ 新しい公共事業、5つの協働事業を実施。

国の「新しい公共」の関連事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」「公共の担い手による地域円卓会議」「CSOの活動基盤強化を図るセミナー」「地域人材力活性化セミナー」などに地球市民の会の持つ経験や資源を提供し貢献いたしました。

◆ 東日本大震災復興支援活動を引き続き実施しました。

被災地を訪ねる 3 度の「元気応援ツアー」、5 名の短期滞在ボランティアの派遣、被災地親子の佐賀への招聘や、東北の夢を富士山に届ける「いのちのまつり」など、支援活動を継続いたしました。

◆ 3カ年計画を策定しました。

2013～2015 年の次期三カ年計画が 2013 年 3 月の理事会合宿会議で策定されました。

活動方針

30 周年に向けて会の活動を広めよう

意識的に会の活動を開けたものにするための仕掛けを心がけました。月 2 回のボランティアデー、年 2 回の会員の集い、イベントの実行委員の公募、そして、フェイスブックページでのニュースの公開など、を行ってきました。

特別支援活動

東日本大震災復興支援事業の継続

2 年目も支援活動を継続いたしました。① 励まし続ける ② つながり続ける ③ 佐賀で風化させない、という点に関しては目的を達成できましたが、企業、市民との広がりという点では、大きな広がりには繋げられませんでした。

重点活動

1、【新規国内事業】中山間地元気再生事業の立案

コミュニティビジネスである「ふるさとステイ」キャンプの実施、耕作放棄地の復活事業立案などが実施されました。後者は資金調達が大きな課題であり、助成金や寄付を獲得することが必要です。

2、【新規海外事業】ラオス協力事業・中国交流事業の調査・立案

ラオスに 2 度目の調査に行きプロジェクトの大まかな立案がなされ、詳細化のステップです。中国交流事業は 100 人の日本語を学ぶ中国人大学生を招聘する「TOMODACHI100」プロジェクトが立案され、次年度 8 月に実施するように現在準備中です。この事業は佐賀県との共催となります。

3、【資金調達・広報】資金調達委員会の機能強化とインターネットの活用

昨年年末事務局支援寄付、ホームページのリニューアル支援寄付を募ったところ、107 万円のご寄付をお預かりいたしました。その後、ホームページ作成業者さんとホームページ作成準備を進めておりますが、まもなく皆様にお目見えできそうです。地球市民の会のフェイスブックページは「いいね」が 400 件を越えまして、即時性の高い情報提供をさせていただいております。

事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項：JICA 事業の成果目標を確実に達成する

「循環型共生社会の自立発展」事業の成果目標を達成するために農業普及員の選定、有機資材生産所建設、循環型農業研修の開催やヤンゴンでの宅配業務を開始など、モニタリングを細かく実施しながら確実に事業を進めています。

タイ事業重点事項：タイ TPA の設立の検討・準備

奨学金制度のリニューアルとともに、タイにスラポン先生を中心に「地球市民の会タイ」を設立する方向で同意いたしました。数年後に形になるように一層努力を進めていきます。

スリランカ事業重点事項：スリランカ交流事業の実施

スリランカから高校生を招聘しました。日本に訪れた学生の中からマドゥシャニさんが、スリランカの全国試験で一番の成績をおさめてスリランカの大統領より表彰されました。日本に来られたことが更なる勉強への「やる気」になっての結果だということで、うれしいニュースも飛び込みました。

平成24年度事業報告概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲、人数	支出額(千円)
国内事業	ふるさとステイ 夏キャンプ	7月～8月	佐賀市富士町関屋	2人	佐賀県、福岡県小学生78名	1,560
	佐賀県、佐賀市委託事業	(県)10月～12月(4回) (市)1月～2月(3回)	佐賀市内	2人	(県)NPO、企業、行政、大学92名 (市)NPO、企業、行政、大学101名	507
	講師派遣事業	通年	佐賀県内各所	5人	一般聴衆者 2500名	125
	その他の事業(中国事業調査費)	通年	上海、杭州	2人	中国調査	306
	新かちがらす日韓青年交流	8月(8日間)	佐賀市富士町北山地区	2人	日本人参加大学生10名 韓国人参加大学生4名 富士町協力者35名	469
小計						2,968
奨学金事業	奨学金支給	5月/12月	タイ:クーキャオ校、 ボーゲウ校 スリランカ: サンガミッタ女子校	2人	タイ人受給生182名 スリランカ人受給生15名 里親132名	1,201
	スタディツアー	12月	クーキャオ校・ボーゲウ校・ ジヨムシー小学校	2人	日本人参加者8名 クーキャオ校・ボーゲウ校・ ジヨムシー小の生徒及び教師、 地域住人	741
	タイ教師招聘事業	1月	佐賀市内、北川副小	6人	タイ人教師1名 日本人参加者20名	133
	タイ自立発展事業	4月/12月	ボーゲウ校、 ジヨムシー小学校	2人	ボーゲウ校・ジヨムシー小 生徒及び教師、地域住人	341
	スリランカ招聘事業	8月	佐賀市内・川内野集落・ 佐賀北高	6人	スリランカ人学生5名、教師1名 日本人参加者延べ300名	567
小計						2,985
ミャンマー事業	タンボジ青少年育成プログラム	通年	タンボジ農業畜産研修センター(卒塚寮)	6人	寮生16名(その家族)	237
	タンテ地域農業環境整備(NGO連携無償資金協力)	～6月	タウンジータウンシップ、 タンテ村落群	5人	地域住民2,440名	11601
	農民の現金収入向上のための村落開発リーダー育成事業(ボランティア貯金)	6月～12月	ナウンカ村落開発センター	6人	農村青年10名	1379
	ティンシューゴン小学校建設	1月～5月	カロータウンシップ、ウゴ ントン村落群	5人	児童80名(その家族)、先生 2名	1828
	パイエー村保育園建設	1月～5月	タウンジータウンシップ、 チャウジース区	5人	園児50名(その家族)、先生 1名	
	ナーリー村保育園建設	～2012年11月	チャウタロンサブタウン シップ、ナーヒー村落群	5人	園児19名(その家族)、先生 1名	
	ポンエー村保育園建設	11月～4月	チャウタロンサブタウン シップ、ナウンカ村落群	5人	園児30名(その家族)、先生 2名	1534
	スタディツアー	9月、3月	ミャンマー南シャン州	5人	日本人参加者9名	
	緑の募金)ルエー村水源涵養林	～6月	ルエー村	5人	地域住民200名	1383
	緑の募金)コンロン村薪炭林造成	6月～	コンロン村	5人	地域住民1,509名	
	エコポイント	通年	タンボジ農業畜産研修センター(卒塚寮)	6人	寮生16名(その家族)	139
	インレー湖流域の自然資源利活用による環境改善プロジェクト(地球環境基金)	通年	インレー湖周辺村	7人	地域住民約2,000名	1813
循環型共生社会の自立発展(JIGA)	通年	タウンジータウンシップ・セレー 地区、チャウタロンサブタウン シップ・ナウンカ地区、ハム シー地区	15人	農家約5,000戸	1,643	
チャリモ	通年	国内		インターネット上の不特定	25	
小計						20,584
東日本大震災支援事業	佐賀からサポートプロジェクト	通期	宮城県	3人	被災者約2000人	180
	出番だプロジェクト	通期	宮城県	6人	被災地施設 300人	942
	想いのP.Fプロジェクト	通期	佐賀県	3人	一般の方々不特定多数	120
	いのちの祭りプロジェクト	通期	被災地	2人	被災者約5000人	1,030
	ハッピーストックプロジェクト	通期	宮城県仙台市	2人	被災者約200人	830
	よかところ佐賀プロジェクト	通期	佐賀県	3人	被災避難者 30人	85
	だいでんいっしょプロジェクト	通期	佐賀県	8人	佐賀県の方々300人	208
小計						3,397

2012 年度、そしてこれからのミャンマー事業・・・

現在、ミャンマーは激動の時代を迎え、日々変化していく生活に戸惑いながら、期待も不安も入り混じった複雑な心境で毎日を送っています。

さて、ミャンマー事業ですが、2012 年 3 月、ギリギリ 2012 年度に間に合い、ミャンマー政府・国境省との覚書に署名をすることができ、第 3 フェーズが開始しました。これまでミャンマー事業は、①循環型農畜産業の普及、②地域開発、③人材育成・教育支援、④文化交流という 4 つの柱で活動してきましたが、今回のフェーズから、正式に「環境保全」という活動を加え、5 つの柱での活動となりました。2012 年度の活動で特筆すべき点は、JICA の草の根技術協力事業が始まったことです。この事業は「循環型共生社会の自立発展～循環型農業を核とした農民のエンパワーメント事業」という長い事業名なのですが、簡単にお話すると、これまでのミャンマー事業の総まとめとして、普及してきた循環型農畜産業の技術で栽培・飼育した成果物のマーケットを構築しようという事業です。マーケットを構築することで、農民主体の販売が可能となり、農民・農村地域のエンパワーメントにつながり、更に循環型農畜産業が広まる…という良い循環を生み出すための事業です。これまで、ミャンマー事業では様々な事業を実施してきましたし、これからも実施する予定ですが、本当にミャンマーに必要な事業は何かということを考え、この JICA 事業に代表されるようにゆくゆくは、地域の人々の手で自立運営ができるような事業に絞り込んでいって、「もう日本人がいなくても大丈夫！」という力強い言葉を現地の人々から聞けることを目標に頑張りたいと思います。
(プロジェクトマネージャー柴田京子)

活動状況

●循環型農畜産業技術の普及●

循環型農業研修

ナウンカセンター他で実施した循環型農業7日間研修は、7回実施、参加人数は111名。今までの研修は計73回の実施、参加累計人数は1,127名にのぼります。



機械修理の実習中

6ヶ月研修@ナウンカ村落開発センター

長年の悲願だった長期研修を実施しました。男女5名ずつ、合計10名の農村青年を対象として、循環型農畜産業の研修を主体に、食品加工、キノコ栽培、機械整備、洋裁、会計などの研修を行ないました。循環型農業・畜産業の技術を普及することももちろんですが、農業からの収入がない時期に、副収入が得られるような技術を身につけることができるような科目も取り入れました。村に帰った研修生たちは、早速堆肥を作ったり、小さな研修会を開いたりしています。2013年度も継続して実施予定です。

(助成:国際ボランティア貯金)

JICA:循環型共生社会の自立創造事業

ミャンマーでは有機農産物も慣行栽培での農産物と同じ市場で同じ値段で売られています。そのため、これまで循環型農業の技術を学んだ人たちがだんだんと慣行栽培に戻ってしまうという問題がありました。そのような問題を踏まえ、農民主体の協同集荷・出荷システムを作り、有機農産物を付加価値をつけて売るためのマーケット構築事業として開始しました。2012年度は、更なる循環型農畜産業の普及のための研修実施、堆肥やボカシの資材を提供するための有機資材生産場建設などを行ないました。この事業は3年事業なので引き続き販売ルートの確保、農民の組織化に力を入れていきます。
(助成:独立行政法人国際協力機構)

●環境保全事業●

コンロン地域緑化事業 2012年7月～2013年6月(継続中)

これまでの事業地とは少し離れた、ピンダヤ地区での事業です。この地域はダヌ民族という少数民族が住んでいます。彼らの代表の「ダヌ民族のモデル林を作りたい!」という気持ちに動かされ、1万本の植林と、今後植林を継続していくために、給水施設とナーサリーの整備を実施しました。そのナーサリーでは今度の雨季に植林をするために、地域の人たちで既に2万本近い苗が作られています。給水施設も15km以上も離れた水源からの配管作業はすべて地域住民の労働奉仕によって行ないました。
(助成:みどりの募金210万円)



みんなで植林します



ワークショップの様子

インレー湖循環化事業

山からの土壌流出による水位の低下、浮き畑での農薬の多投による水質汚染などの問題を抱えるインレー湖。本事業では佐賀大学・五十嵐准教授指導の下、水草を使った堆肥による循環型農業普及と、植林を中心とした3ヵ年計画の最終年でした。合計1万5千本の植林を3村で実施、ホテアオイの引き揚げとそれを使った堆肥研修を2村で実施、一昨年に引き続きレーエインゴン村でのアグロフォレストリーの指導を実施しました。また、日本からの専門家による「持続可能な開発と住民主体のインレー湖環境保全」に関するワークショップを行なうなど、啓蒙活動にも力を入れました。 助成：地球環境基金 340万円)

●地域開発支援●

NEW

ハムシーナウンシン給水事業

2005年から運営されているナウンシン入植デモファームですが、これまで乾季に水が不足し、農業はもちろん、生活用水にも問題があるぐらいでした。しかし、約9km離れた水源から水を引くことで、それらの問題も解決！今は乾季でも家の周りに青々とした野菜が栽培されています。また水源とナウンシンの間にあるハムシー村の学校や学校寮にも水を分け、子供達の水汲み作業が軽減されました。 (支援：鶴田様、森様、株式会社オキローボ様)

●人材育成・教育支援●**タンボジ青少年育成センター**

6月に新9年生の8名を迎え、16名でスタートしたタンボジ寮。インターン生の松原さんの助けもあり、3月末、無事に8名の10年生が卒業していきました。卒業生は、「これからは後輩をサポートする側」という自覚を持って、巣立っていってくれました。

(支援：タンボジサポーター)

ティンシューゴン小学校建設

幹線道路から、車が通れない道をバイクで45分。校舎の問題などで、5年の初等教育のうち3年までしか受けられない学校でした。しかし、今回新校舎が完成したことで、政府に正式な学校として認可してもらおうステップとなり、5年生まで通える日が近づいています。

(支援：御厨初美様)

保育園建設支援

ここ数年、非常に需要が多い保育園。教育の重要性を自覚してきた証拠だと思います。

- ・ナーリー村保育園建設(～2012年)
(支援：保育園ひなた村自然塾様)
- ・パイェー保育園
(支援：チームみんながらあばあ様)
- ・ボンエー保育園建設
(支援：日本ミャンマー豊友会様)



ボンエー保育園



ティンシューゴン小学校

カンカウン準中学校建設プロジェクト

スタディツアー参加者による学校建設プロジェクトを開始しました。7名の学生、一般参加者の方が報告会や写真展、街頭募金を行い資金集めをしました。2012年度ツアー参加者もプロジェクトに加わり引き続き活動しておりますが、皆様のご協力により今年度建設が決定しております！ご協力、ご支援いただき、ありがとうございました。

●文化交流事業●

ホームビジットの様子

スタディツアー実施・受け入れ

2回(9月3月)スタディツアーを実施しました。9月は、環境破壊が進むインレー湖を中心にミャンマーの現状を学ぶツアーとしました。3月も、エコツアーとして上記インレー湖の循環化事業の一環で現地の村でワークショップを行ったり植林地の視察などを行いました。ホームビジットでは、言葉の通じない中、心のつながりを結ぶことのでき、かけがえのない思い出になったようです。その他、個人ドナーさんや視察など大小さまざまなグループの受け入れをしました。近年になく訪問者が多く、ミャンマーの注目度が高いことを実感した1年でした。



●タイ事業●

地球市民奨学金支給

支給先: ウドンタニ県クーキャオウィッタヤ校・カラシン県ボーゲウ校

支給奨学生数: 182名 里親会員数: 132名

昨年度もタイ東北部イサーン地方の中学生・高校生へ里親さんからの真心の込められた奨学金を届けることが出来ました。

1991～2012年の奨学金総受給者数は3,433名となりました。



スタディーツアー(12月14日～12月21日)

参加者: 里親1名、一般参加者5名、

事務局2名、計8名

「タイの子ども達へ絵本を届けようツアー」を実施。里子との対面、学校訪問、ホームステイ、文化交流などを体験しました。

教育環境改善プロジェクトに合わせ、ジョムシー小学校を訪問し、現地の小学生20名、また地域の人々と共に図書館づくりを行いました。一緒に書道や絵本のワークショップを行い、図書館に名前を付け、現地NGOとも連携し、タイでの輪をまた広げることができました。

さとおやの集い(佐賀市内で開催)

昨年に引続き里親会員の交流、国際理解教育を目的とした集いを実施。スラポン先生招へい時に開催し、さとおやさんだけでなくツアーに参加した学生さんも参加したりと、さとおやさん・会員さん・ボランティアさんの輪を広げる会となりました。

スラポン先生招聘事業(1月)



タイ・クーキャオ校で16年間地球市民奨学金の担当として縁を結んできたスラポン先生に佐賀に来て頂きました。

今までのタイでの奨学金の歴史を共に振り返る中で、「遠い日本からの支援は、子ども達の支えになった」「里親さんとの交流が励みになった」「奨学金のおかげで先生になることが出来た」と、卒業生の話を聞き、奨学金の成果を知ることが出来ました。

また、現在のタイの状況を踏まえ、スラポン先生と共に新しいかたちの奨学金事業を開始する事を決定しました。2013年4月、スラポン先生を中心にタイ東北部にて「地球市民の会タイ」を結成。「貧困の輪から抜け出すため」に、高等教育へのアクセスができるようにと、高校生～大学生への奨学金事業をスタートします。



教育環境改善プロジェクト

本年度も皆さまからのご寄付と、チャリティーショップ「ばーん・たわん」の売上により、タイ東北部にて2つの子ども達の教育環境改善のためのプロジェクトを実施することができました。

タイの現地の人々と共に計画をし、プロジェクトに現地の人々の協力を得ることで、共に作り上げ、タイの人々・そして参加した日本の人々と喜びを分かち合えるプロジェクトとなりました。

《精米機プロジェクト》

プロジェクト費: 約20万円

2011年から計画を進めていたボーゲウ校での学校農園プロジェクト。昨年4月に校内に精米機を設置し、本格的に始動しました。

現在、①村人の精米機利用手数料、②精米したお米の販売売上、この2つで子ども達への奨学金支給に向けて現地で利用しています。高校3年生を中心に、当番を決めて稼働したりなど、子ども達の自主性を育む場としても役立っています。

《図書館づくりプロジェクト》



プロジェクト費: 約34万円

現地NGOと協力し、「子ども達やお母さんが感性を育める場」「村人が集える場」として、タイ東北部にある、ボーゲウ校で奨学金事業の担当をしていたサティアン先生が校長先生を務めている、全校生徒20名ジョムシー小学校に図書館をつくりました。日本人ツアー参加者と共に実施。日本の絵本も数冊、タイ語に翻訳して持って行きました。

子ども達自身で図書館に付けた名前は、「最愛なる図書館」。絵本を抱えて子ども達は夢中になっていました。



●チャリティーショップ事業●

チャリティーショップ「ばーん・たわん」も3年目となり、ボランティア・寄付者の皆さまにも継続して協力して頂ける方が徐々に増えてきました。

2012年度、今までの売上によって、タイで2つのプロジェクトを実施。皆さまからの寄付を、カタチにして子ども達へ笑顔をお届けすることができました。

「何か出来ないかと思って寄付をしました」と洋服を寄付して頂く方も増え、これからも皆さまの思いをチャリティーショップを通じてカタチにしていけたらと思います。

《2012年4月～2013年3月》

◆寄付点数: 600点以上 ◆寄付者数: 32名+1企業

◆ボランティア参加者: 10名 ◆売上: 143,745円

ありがとうございました！

《ボランティアデーの定期的開催》

昨年に引き続き、ボランティアグループが月に1～2回定期的にボランティアとして参加。新しくボランティアに来る方も増えるなど、ボランティアルームは賑わっていました。

委託販売以外にも、フリマやイベントへの出店など、外へ向けての活動も継続して行っています。



●スリランカ事業●

シショダヤ奨学金支給

支給先: ゴール市・サンガミッタ女子校 支給奨学生数: 25名 里親会員数: 13名

1991～2012年の奨学金総受給者数が100名となりました。2012年度より、毎年の奨学生募集人数を5名から10名に、支援期間を2年間から3年間へと拡大し、里親さんと里子さんがより深い交流が出来るカタチへと変わっています。

NEW

カタランカ Cross Asia 招へい事業

招へい人数: サンガミッタ女子学生5名・担当教師1名

日本人参加者: 延べ300名以上

2012年度から、佐賀とスリランカの交流をより深める為に年に1度の交流プログラムをスタートしました。昨年は8月2日～10日の8日間、シショダヤ奨学生を佐賀へ招へい。

ボランティアで奨学生受入実行委員会を結成し、日本とスリランカの交流プログラムを実施しました。川内野集落での農民宿泊体験や佐賀北高校・おへそ保育園訪問、お能見学や浴衣体験などを通し、日本を知ってもらおうと共に佐賀の地域の方と交流を深めました。8日間で、日本人参加者は延べ300名を越え、学生がスリランカへ帰国後もホストファミリーと手紙のやりとりが行われる等現在も交流が続いています。



日本に来たスリランカの学生達も、帰国後に行われた全国統一試験で1位の成績を残すなど、日本からの応援を活かに頑張っており、学生達にとっても刺激となりました。

これからも定期的に交流事業を行い、日本とスリランカの架け橋をつくっていきたいと思います。

(助成: 双日国際交流財団・佐賀県国際交流協会・佐賀銀行福祉基金・チカラット)



さとおやさんを始めとして、ボランティアさんや多くの方からの真心に支えられ、2012年、タイでは教育環境改善プロジェクトやスラポン先生招へい事業、スリランカではカタランカ Cross Asia 招へい事業と、現地との交流を深く行うことができました。2013年、タイでは今までの縁が繋がり、新しい奨学金事業がスタートします。心と心を繋ぎ、続いていく活動を続けていきたいと思っています。

年間事業(2012年4月~2013年3月)

5月:総会

8月:新かちがらす(日韓大学生交流事業)@佐賀市富士町北山地区

11月:Earthな日、東北親子招聘事業@佐賀市

12月:会員の集い

2月:新かちがらす(日韓大学生交流事業)@釜山市内

◆地球市民の会会員の集い

会員の皆さまに日頃の「ありがとう!」を伝えたいということで12月に古賀道場で会員の集いを実施しました。関係している各国の食べ物や飲み物をボランティアさんたちと一緒に作りました。人気だったタイ、スリランカカレー、ミャンマーのピーナッツ油麺、辛かった中国の火鍋など。また、各国で行なっている仕事やその国の魅力など担当スタッフからの紹介もさせていただきました。日頃なかなか会えない会員の皆さまにも会うことができ、また、来ていただいた方々にも喜んでいただき私たちもたいへん嬉しい一日でした!



(会員さんとボランティアの交流も楽しく出来ました!)

◆新かちがらす IN 富士町北山地区(8月)、釜山(2月)

8月は佐賀市富士町で2月は釜山で日韓の大学生の交流を行いました。富士町では、参加者14名(日本10名、韓国4名)、釜山では参加者11名(日本4名、韓国7名)でした。両国の過疎問題について実際に視察や活動を通して、考え、学びました。活動は、富士町では、地元の小学生や幼稚園生との交流、まち歩きなどを行い、地域の現状について学びました。釜山では、日韓大学生同士で両国の地域づくりを紹介し、実際まちづくりを行なっている場所を視察しました。両国どちらとも多くの人のご協力を得て、最後は涙ありの交流会ができました!



(富士町の魅力発表会)

通年事業

- ①(株)ミズとのRTMほっとかれんもんプロジェクト(講師派遣事業)
- ②佐賀市市民活動推進課と佐賀の演劇人との協働事業の「協働」おもしろ大百科、各業種の繋がる場をセッティングした「協働マッチング Show」
- ③ドリームパーク(神埼市の小学校への講師派遣事業)
- ④CSO学院(CSOの組織力と人材育成を目的に県との協働事業)
- ⑤佐賀県男女参画県民協働課の委託事業で「LCCを活用した地域円卓会議」

◆2013年の事業も精力的に行っていきます!

2012年度は多くの事業を通して、会員の方々や新たに地球市民の会を知ったという方々にご参加いただきました。広報の問題は相変わらずですが、スタッフ自身で人と繋がり、少しずつですが若い方への拡がりもでてきています。2013年は中国、韓国、ミャンマー、東北から招聘事業を行います。より多くの方々と一緒に協力して実現していきたいと思っています。皆さまとの協力なしには実現できない事業ばかりです。是非、今年度もご支援よろしくお願ひします!



【活動報告】

地球市民の会は昨年続き、佐賀市中山間地域にある富士町で活動を行いました。2012 年度行った事業の特徴として、地域の方々と計画から実施まですべて一緒に行ってきたということです。事業後は地域外の方のファンも増え、地域の方々の意識変化にも繋がっていました。

<有明木綿事業> 耕作放棄地を開墾しての木綿づくり



富士町 苧木集落

【きっかけ】

富士町でも 65 歳以上のお年寄りが全体の 60% 近くを占める苧木集落。集落存続のためにも今後どのような活動をしていくのか一緒に話を進めていました。その時に、佐賀市海沿いの町の川副という地区に古くから木綿を作っている方がいました。なかなか経済活動までには発展できずに多くの木綿農家がやめていったそうです。しかし、先祖から受け継いでいる木綿の種を何とか残したいという思いがありました。そこで、苧木集落内にある耕作放棄地開墾しての木綿をつくる活動を企画しました。

【活動】

一般の方々も参加し、5 月の植ええからの作業でした。植ええ、草むしり、収穫を行い、時間の合間に草木染めや地域の方に講師になっていただき様々な山の遊びを教えてくださいました。毎回参加者も 30 名以上は来てくれました。この事業も地元の方々、富士支所や古湯女将会など多くの方々と連携しての事業でした。

地域の方がこの事業を通して、非常に喜んでいただき地域内の雰囲気も変わった！と言ってもらえたのが何よりも嬉しい言葉でした！参加者も美味しい食べ物や山の綺麗な自然に癒され毎回参加の方も多かったです。みんなで楽しみながら地域の課題が解決されていけるように 2013 年度も進めていきます！



自治会長の水田さん

苧木始まって以来の賑わいで
地域の人も喜んでいました！



たくさんの綿の収穫ができました

<子どもふるさとステイ事業>

富士町 関屋集落

7 月の夏休みから小学生を対象としてキャンプ事業を行いました。地域から子どもの声なくなった・・・と言われていた方々。地域内に子どもたちの声があるような事業をしたいということで、2泊3日を3本、1泊2日を1本のキャンプ事業を実施しました。小学生は佐賀県、福岡県から 80 名の参加がありました。地域からも講師やサポーターとして参加してもらい水鉄砲づくりなどの昔ながらの遊びを教えてくださいました。



<今後の取り組み>

今後も、各集落の取り組みのサポートを行なっていきます。また、昨年続き、「有明木綿」の事業も行っていきます。「農」を通じた地域づくりを地域の方々と一緒になって継続していきます。たくさんの方が気軽に集える場所にしたいと思っています！会員の皆さまにもお気軽に参加してください！

<循環型地域づくり事業>

富士町 上合瀬集落

集落存続のために地域内の若者でつくったベジボーイズは 2012 年度も農地開墾や野菜作り、キムチづくりなどを行ってきました。多くの方々に関心をもってもらい、行政などから活動紹介をする機会を数回いただきました。外部の人に活動や地域のことを話すことで、自分たちの地域や活動、目指すべきところなど改めて再認識した 1 年でした。今後、何十年と続く活動ができ、地域が盛り上がっていくように取り組みを行っていきます。



平成24年度

佐賀から元気を送ろうキャンペーン プロジェクトの主な活動

被災地を訪れて応援する

● 出番だ！プロジェクト

スタディツアーの実施

「観光でもいいから見に来てほしい」という声にお応えし、佐賀から東北ツアーを企画。7月、10月の2回で7名の佐賀県民が東北を訪れ、佐賀から元気を送ろうキャンペーンのメンバーが案内させていただきました。

東北応援ボランティアの派遣

5名の佐賀県民がボランティアとして東北を訪問。うち3名は学生で、東松島、山元町などで施設のお手伝いをしたり、沿岸部の津波の被害が大きい地域を訪問。その後、報告会、レポートを提出し、「メディアで伝えられる被災地と違った。これからも支援を継続して行きたい」と、佐賀に帰ったあとも意欲的に活動しています。

女性の目線で女性と子供を支援する

● ハッピーストックプロジェクト

11月、東北の親子8名を佐賀に招待し、バルーンフェスタを思いっきり楽しんでもらおうと企画。そのための資金集めとして9月23日、STS祭りでバザーを実施。佐賀にいらした方々は、バルーンフェスタのほか、熊の川温泉や三瀬そば、吉野ヶ里遺跡、ホームステイなどを楽しみ、笑顔の2泊3日となりました。その他、お子さんのためのクリスマスプレゼントや、クリスマスケーキ作りのいちご(被災され再建された亘理の農家さんのもの)のための資金を提供。また、被災地の仮設住宅で作られた物品販売など、さまざまな支援を続けています。

夢で被災地だけでなく、日本中を元気に！

● いのちのまつりプロジェクト

日本中から集めた夢を描いたハンカチをつなぎ合わせ、富士山の噴火口を囲み輪になることでハッピーニュースを発信し、見た人を元気にするお祭りを8月24日に開催。集めた被災地での夢ハンカチ5000枚以上を含むおよそ20000枚の富士山頂へ届けました。

そのほか、「夢みこし」や被災地や全国から集めた夢ハンカチを持った笑顔や活動の様子の写真、など約3500点をDVDにおさめ、7月21日に種子島宇宙センターから打ち上げられた補給機「こうのとり」に搭載していただき、国際宇宙ステーション日本実験棟きぼうに届けられました。



ゆるやかなネットワークを構築し、各プロジェクトがさまざまな活動を行いました。



現地のニーズに合わせたプレゼントを贈る

● 佐賀からサポートプロジェクト

8月に岩手県一関市にある千厩仮設住宅へ布団干しを寄付。そのほか現地の方の要望に合わせてはぎれ、ミシン、ろうそく、古タオルなどを宮城県を中心にお送りしました。



佐賀に避難されている方と、たのしい交流会の実施

● よかところ佐賀プロジェクト

10月20日、東日本大震災の影響で佐賀に避難をしている方と宮城県人会さが、佐賀から元気を送ろうキャンペーンのボランティア総勢80名で第2回秋だ！東北名物いも煮会を実施。JAさが提供の佐賀牛や2種類のいも煮を楽しみました。



1月、明治製菓ホールディング株主様よりご提供いただいた明治製菓のお菓子を佐賀県の支援団体へ配布しました。

2月、福島県民交流の集いを開催しました。

震災を風化させないために・・・

● だいでんいっしょプロジェクト

3月11日、東日本大震災から丸2年となるこの日に、「3.11だいでんいっしょキャンドルのタベin深川家」を実施。1200本ものろうそくを深川家の庭いっぴいに灯し、被災された方への追悼の思い、復興への願いを込めました。また、山の音楽家shanaさんによるコンサート、東北の郷土料理「いも煮」の振る舞い、東北の仮設住宅で作られた物品の販売も行いました。

宮城県から届けられたキャンドルの前で手を合わせ、東日本大震災の犠牲者の冥福を祈る子どもたち—11日午後7時ごろ、小城市小坂町の深川家住宅(撮影・山田宏一郎)



ろうそくに灯 元気送る

震災を風化させないために・・・

● 酒米プロジェクト (ハッピーストックプロジェクト)

「福興酒 絆伝心」は東北支援の寄付付き商品です。宮城県登米市のイセヒカリ、酵母はイチゴを使い、女性にも飲みやすい味わいのお酒で「被災地をわすれない」というメッセージを送っています。3月9日～10日には「ハンドメイドフェアさが＊ひな市」のブースにて販売。天吹酒造さんと佐賀から元気を送ろうキャンペーンの協働事業で昨年に引き続き2年目です。昨年の1000本に対し今年は1500本生産しました。



インターネット上に想いをのせて情報を発信

● 想いのプラットフォームプロジェクト

佐賀県の震災支援情報が集まる場として、佐賀から元気を送ろうキャンペーンのプロジェクトのイベントや活動報告や他団体の震災支援情報を発信しています。



決算報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

目次

◆財務分析と課題	-P13
◆平成24年度貸借対照表	-P14
◆平成24年度活動計算書	-P15
◆平成24年度財務諸表の注記 1	-P16
◆平成24年度財務諸表の注記 2	-P17
◆平成24年度事業別損益計算書	-P18
◆平成24年度財産目録	-P19
◆平成24年度対比貸借対照表	-P20
◆平成24年度対比収支計算書	-P21
◆5期連続収支計算表	-P22
◆ミャンマードル会計 貸借対照表、収支計算書	-P23
◆ミャンマーチャット会計 貸借対照表、収支計算書	-P24
◆ミャンマードル・チャット会計財産目録	-P25
◆監査報告	-P26

特定非営利活動法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町3-10

2012年4月から施行された「改正 NPO 法」に対応した「NPO 法人会計基準」によって、本年度から従来の決算にかかる財務諸表の構成を変更しています。また、多くの方に財務内容や推移をご理解いただくために、補助資料も多数用意し、前年よりも多いページ数になりました。わかりにくい点や疑問点は事務局までお問い合わせください

～地球市民の会の健康状態(貸借対照表から)～

● 外務省の NGO 連携無償資金が年度をまたいだため、24 年度は資産の減少額が大きくなりました。

外務省の NGO 連携無償で実施したミャンマーのタンテ堰整備事業の資金が 23 年度の終わりごろに入金され、その事業実施が 24 年度だったため、流動資産が著しく減少しています。また、実存性がなかった負債科目の基金勘定を正味財産に繰り込みました。国際協力事業では、短い期間に大きな金額の出入りが発生する傾向にあり、資金繰りの不安定さが当会の問題のひとつとなっています。継続性のあるコンスタントな収入によってランニングコストをカバーするというのが当会の大きな課題でもあります。

～地球市民の会の経営健全度(収支計算書から)～

● 収入構造の改善のため、収支は厳しい状況ですが、より良い活動のために我慢の年度となりました。

18 ページの平成 24 年度事業別損益計算書でわかるのですが、単年度の収支では赤字になっています。国内事業は中山間地の活性化事業の助成金期限が 23 年度で終わったにもかかわらずそれをカバーする事業が立ち上がらなかったこと、タイの里親制度のリニューアルにより奨学金募集額を意識的に減少させたこと、ミャンマー事業の年度をまたいでの支出による単年度の支出過多、がその理由です。25 年度では国内事業の立ち上げなどで改善する予定です。

ファンドレイジング(資金調達活動)にも力を入れました。組織的に寄付を集めるということですが、寄付とは会員や協力者による地球市民の会の活動への参加ですから、会員や協力者に事業の意味や成果を丁寧に、しっかり、解かり易くお伝えすることができているかが問われることでもあります。これからもしっかり力を入れていかなければならないことなのです。

収入金額が前年度よりも大きく下がっていることも問題です。ミャンマー事業のような大きな案件がなければ今回のような結果になるということは、ミャンマー事業に金額ベースで大きく依存していることとなります。いろんな事業に満遍なく収入チャネルを持たなければならないという積年の課題解決が喫緊の重要事項だともいえます。

～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	理想①	理想②
会費・寄付収入	29%	29%	20%	21%	29%	40%	40%
委託金・助成金収入	57%	65%	71%	71%	57%	40%	30%
自主事業収入	14%	5%	9%	8%	14%	20%	30%
総収入金額	58,071,310	45,185,158	65,256,983	91,012,431	53,862,736	1 億円	1 億円

● 委託金・助成金収入が少なく、会費寄付収入、自主事業収入の比率が上がりました。

本年度はミャンマーでの大きな案件での補助金がなかったため、委託金・助成金収入の比率が下がっています。これは、収入バランスの理想①に近づけるために寄付と自主事業に注力した結果ですが、今後とも続けていけるようにしなければなりません。

貸借対照表

2013年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,746,690		
寄付物品	1,914,000		
前払金	23,200		
未収金	47,478		
流動資産合計		16,731,368	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			16,731,368
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	861,371		
前受金	48,000		
預り金	321,703		
ミャンマー事業次期事業費	1,453,013		
流動負債合計		2,684,087	
2. 固定負債			
クーキャオ中学前受金	414,000		
クーキャオ高校前受金	18,000		
スリランカシシヨダヤ奨学金前受金	155,000		
固定負債合計		587,000	
負債合計			3,271,087
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産		11,553,706	
当期正味財産増加額		1,906,575	
正味財産合計			13,460,281
負債及び正味財産合計			16,731,368

特定非営利活動法人 地球市民の会

活動計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員受取会費	2,386,000	
賛助会員受取会費	812,000	3,198,000
2.受取寄付金		
受取寄付金	12,501,449	12,501,449
資産受贈益	0	0
施設等受入評価益	0	0
3.受取助成金等		
受取民間助成金	5,480,065	
受取国庫補助金	25,095,917	30,575,982
4.事業収益		
国内事業収益	4,914,368	
奨学金事業収益	942,075	
ミャンマー事業収益	1,729,000	7,585,443
5.その他収益		
受取利息	1,179	
雑収益	39,810	40,989
経常収益計		53,901,863
II 経常費用		
1.事業費		
(1) 人件費		
給料手当	15,520,774	
法定福利費	1,651,440	
人件費計	17,172,214	
(2) その他経費		
1. 直接事業費	29,935,816	
2. 間接事業費	2,318,400	
福利厚生費	114,500	
会議費	8,397	
諸会費	93,389	
旅費交通費	151,875	
通信運搬費	421,004	
交際費	57,645	
消耗品費	896	
印刷製本費	400,526	
光熱水料費	148,688	
賃借料	859,120	
租税公課	5,200	
負担金支出	5,000	
雑費	40,160	
参加費	12,000	
その他経費計	32,254,216	
事業費計		49,426,430
2.管理費		
(1) 人件費		
給料手当	4,959,300	
法定福利費	669,023	
人件費計	5,628,323	
(2) その他経費		
福利厚生費	73,346	
会議費	32,543	
諸会費	147,000	
旅費交通費	42,795	
通信運搬費	201,769	
交際費	1,575	
消耗品費	225,791	
印刷製本費	215,669	
光熱水料費	80,062	
賃借料	462,602	
研修費	10,000	
火災保険料	46,440	
諸謝金	10,500	
租税公課	81,400	
負担金支出	154,775	
雑費	72,859	
参加費	30,000	
その他経費計	1,889,126	
管理費計	7,517,449	7,517,449
経常費用計		56,943,879
寄付物品売却損		-197,360
基金繰入収入		7,749,846
ミャンマー事業費繰入損		-2,603,895
当期正味財産増減額		1,906,575
前期繰越正味財産額		11,553,706
次期繰越正味財産額		13,460,281

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は現有しておりませんので減価償却はなされておられません。所有した際は法人税法の規定に基づいて定率法で償却をします。無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をします。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

当期は消費税の非課税期間のため消費税等の会計処理はなされておられません。次年度より税込経理方式によって行います。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は添付別紙資料の通りです。

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

内 容	金 額	算 定 根 拠
支援酒米輸送代	78,750	(株)ワードより 岩手県→佐賀県みやき町1台分

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 拠
事務作業補佐 延 240名 合計 600時間	391,800	単価は佐賀県の最低賃金(653円)によっています。事務補佐の内訳は当会事務局に別途設置されているのボランティアサポート台帳にあります。
キャンプ事業補佐 延 63名 合計 504時間	329,112	
イベント補佐 延 87名 合計 367時間	239,651	

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は(13,460,281)円ですが、そのうち(11,634,189)円は以下の支援事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は(1,826,092)円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
教育支援(学校建設等)寄付		2,042,992	1,828,130	214,862	
ナウカ長期研修		2,257,310	1,379,185	878,125	国際ボランティア貯金
コンロン地域緑化事業		1,748,000	383,285	1,364,715	緑の募金
インレー湖循環化事業		3,455,000	1,813,030	1,641,970	地球環境基金
タンボジ環境教育支援事業		158,443	139,000	19,443	エコポイント寄附
循環型共生自立創造事業		15,158,255	7,643,181	7,515,074	J I C A
残 高	0	24,820,000	13,185,811	11,634,189	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減はありません。

7. 借入金の増減内訳

借入金の増減はありません。

8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

平成24年度事業別損益計算書

単位：円

	国内事業	奨学金事業	ミッソーラ事業	東日本大震災支援事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費						3,198,000	3,198,000
2. 受取寄附金		2,928,640	3,211,007	2,206,150	8,345,797	4,155,652	12,501,449
3. 受取助成金等	2,102,812	800,000	22,673,170	5,000,000	30,575,982		30,575,982
4. 事業収益	4,914,368	942,075	1,729,000		7,585,443		7,585,443
5. その他収益			564	615	1,179	39,810	40,989
経常収益計	7,017,180	4,670,715	27,613,741	7,206,765	46,508,401	7,393,462	53,901,863
II 経常費用							
(1) 人件費	5,094,748	2,455,067	6,983,132	2,639,267	17,172,214	5,628,323	22,800,537
給料手当	4,417,000	2,162,000	6,645,000	2,296,774	15,520,774	4,959,300	20,480,074
法定福利費	677,748	293,067	338,132	342,493	1,651,440	669,023	2,320,463
(2) その他経費	3,873,891	3,444,826	21,237,934	3,697,565	32,254,216	1,889,126	34,143,342
1. 直接事業費	2,968,651	2,985,910	20,584,200	3,397,055	29,935,816		29,935,816
2. 管理費	905,240	458,916	653,734	300,510	2,318,400	1,889,126	4,207,526
福利厚生費			105,710	8,790	114,500	73,346	187,846
会議費			2,597	5,800	8,397	32,543	40,940
諸会費				93,389	93,389	147,000	240,389
旅費交通費		12,600	46,372	92,903	151,875	42,795	194,670
通信運搬費	190,240	92,238	94,398	44,128	421,004	201,769	622,773
交際費			2,645	55,000	57,645	1,575	59,220
消耗品費			396	500	896	225,791	226,687
印刷製本費	203,344	98,591	98,591		400,526	215,669	616,195
光熱水料費	75,488	36,600	36,600		148,688	80,062	228,750
賃借料	436,168	211,476	211,476		859,120	462,602	1,321,722
火災保険料					0	10,000	10,000
諸謝金			5,200		0	46,440	46,440
租税公課			5,000		0	10,500	10,500
負担金支出			5,000		5,200	81,400	86,600
雑費		7,411	32,749		40,160	154,775	159,775
参加費			12,000		12,000	72,859	113,019
経常支出合計	8,968,639	5,899,893	28,221,066	6,336,832	49,426,430	7,517,449	56,943,879
経常収支差額	-1,951,459	-1,229,178	-607,325	869,933	-2,918,029	-123,987	-3,042,016
当期経常増減額	0	0	-2,603,895		-2,603,895	7,552,486	4,948,591
寄付物品売却損						-197,360	-197,360
繰入金収入						7,749,846	7,749,846
III 事業費繰入損							
当期収支差額			-2,603,895		-2,603,895		-2,603,895
繰越収支差額							1,906,575
次期繰越収支差額							11,553,706
							13,460,281

財 産 目 録

2013年 3月31日現在

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金 預 金	14,746,690	
現金 現金手許有高	116,978	
普 通 預 金	13,723,314	
佐賀銀行本店営業部 2675887	1	
佐賀銀行本店営業部 1506171	3,511,724	
佐賀銀行本店営業部 JICA 3046432	6,940,671	
佐賀銀行本店営業部 N連 3029237	480,406	
佐賀銀行本店営業部 N連 3007858	263	
佐賀銀行本店営業部 震災支援金口3018910	2,547,472	
佐賀信用金庫本店営業部 1059408	61,071	
三井住友銀行 0362355	8	
佐賀共栄銀行 248629	181,698	
郵 便 貯 金	15,717	
郵 便 振 替	762,080	
郵 貯 ハ ッ ピ ー ス ト ッ ク	128,601	
寄 付 物 品	1,914,000	
前 払 金	23,200	
未 収 金	47,478	
流動資産合計		16,731,368
資産合計		16,731,368
II 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 金	861,371	
給与 3月分	210,000	
4/1 社会保険料 H25年2月分	289,878	
4/30 社会保険料 H25年3月分	289,878	
4/8 車両広告代 3月分	3,000	
4/15 レンタルサーバー代 3月分	2,100	
4/1 電話代 2月分	7,995	
4/30 電話代 3月分	8,397	
4/24 カラコピー代	3,100	
4/8 PC関連リース料 3月分	14,700	
チケット代	5,000	
旅費 精算分	25,200	
ガソリン代精算	2,123	
前 受 金	48,000	
H25年度分 正会員費 2人分	24,000	
H25年度分 賛助寄付会員費 2人分	24,000	
預 り 金	321,703	
源泉所得税	60,600	
理事慶弔費	261,103	
ミャンマー事業 次期事業費	1,453,013	
流動負債合計		2,684,087
2. 固定負債		
ク ー キ ャ オ 中 学 前 受 金	414,000	
2013年度分	282,000	
2014年度分	96,000	
2015年度分	36,000	
ク ー キ ャ オ 高 校 前 受 金	18,000	
2013年度分	18,000	
スリランカシショダヤ奨学金前受金	155,000	
2013年度分	107,000	
2014年度分	32,000	
2015年度分	16,000	
固定負債合計		587,000
負債合計		3,271,087
正味財産		13,460,281

特定非営利活動法人地球市民の会

貸借対照表

2013年3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	50,824	116,978	未払金	15,610,289	861,371
普通預金	33,208,143	13,723,314	前受金	16,000	48,000
郵便貯金	600,776	144,318	預り金	316,867	321,703
郵便振替	538,979	762,080	仮受金	5,973	0
現金預金合計	34,398,722	14,746,690	ミヤ事業次期事業費	0	1,453,013
寄付物品		1,914,000	流動負債合計	15,949,129	2,684,087
前払金		23,200	ボーゲウ前受金	84,000	0
未収金	554,748	47,478	クーキャオ中前受金	480,000	414,000
仮払金	62,329	0	クーキャオ高前受金	126,000	18,000
ミヤ未使途資金	1,150,882	0	シヨダヤ前受金	224,000	155,000
流動資産合計	36,166,681	16,731,368	基金	7,749,846	0
固定資産合計	0	0	固定負債合計	8,663,846	3,271,087
			負債合計	24,612,975	1,818,074
			正味財産	11,553,706	13,460,281
資産合計	36,166,681	16,731,368	負債・正味財産	36,166,681	16,731,368

特定非営利活動法人地球市民の会
24年度収支決算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

【経常収入の部】	23年度決算	24年度予算	24年度決算	【経常支出の部】	23年度決算	24年度予算	24年度決算
会費収入	3,389,000	4,000,000	3,198,000				
			3,828,315				
国内地域開発事業	12,825,731	16,720,000	7,384,327	国内地域開発事業費	3,900,970	8,900,000	2,968,651
国内事業収入	500,175	500,000	1,914,108	物販仕入れ	40,358	100,000	45,895
講師派遣事業	4,297,952	2,800,000	2,522,260	講師派遣事業支出	272,261	300,000	125,029
補助金・助成金等収入	1,121,357	6,700,000	620,192	補助金・助成金等支出	0	0	0
寄附金収入	281,425	1,000,000	327,337	委託金事業支出	1,721,839	400,000	461,365
委託金収入	6,410,000	2,500,000	1,482,620	その他の事業支出	814,011	1,300,000	306,193
中山間地元気再生事業収入		3,000,000		中山間地元気再生事業費		6,000,000	1,560,348
韓国関連事業収入	210,643	220,000	478,000	韓国事業費	1,052,504	800,000	469,821
雑収入	4,179		39,810				
奨学金関連収入	5,067,700	6,362,000	4,670,715	奨学金事業費	2,638,980	4,627,500	2,985,910
補助金・助成金等収入	390,000	1,100,000	800,000	奨学金交付	1,709,104	1,640,000	1,201,019
奨学金会費収入	3,709,400	2,722,000	2,773,500	奨学金調査・現地調整費	109,000	440,000	133,878
さとおやツアー	459,000	1,500,000	788,200	さとおやツアー	612,630	1,275,000	741,905
チャリティショップ	232,870	740,000	153,875	自立発展事業	208,246	555,000	341,960
寄付金収入	276,430	300,000	155,140	スリランカ招聘		717,500	567,148
ミャンマー関連収入	56,779,455	28,863,000	27,613,741	ミャンマー事業費	46,038,142	28,758,000	23,188,095
自主事業収入	1,389,390	1,500,000	1,729,000	自主事業支出	1,171,973	1,275,000	1,559,353
スタディツアー	1,335,000	1,500,000		スタディツアー	1,171,973	1,275,000	1,534,153
チャリモ事業	1,680			チャリモ	0		25,200
その他物販収入	52,710			寄付金支出	4,646,439	3,200,000	2,065,940
寄附金収入	3,417,828	3,500,000		タンボジ研修センター	537,235	500,000	237,810
タンボジ研修センター	555,236	500,000	498,109	インフラ整備事業	1,260,000		
農業支援事業費		1,000,000		農業支援事業費	990,000	900,000	
教育支援(学校建設)	580,144		2,042,992	リーダー育成研修	804,223		
インフラ整備事業	1,400,000	2,000,000		教育支援(学校建設)	1,054,981	1,800,000	1,828,130
その他の寄付収入			669,906	助成金支出	35,335,208	26,283,000	16,958,907
エコポイント	882,448		158,443	外務省NGO連携無償	27,692,412	12,000,000	11,601,216
助成金収入	51,972,237	23,863,000		緑の募金	1,600,993	1,500,000	383,285
外務省NGO連携無償	46,438,237		42	地球環境基金	6,011,353	3,400,000	1,813,030
緑の募金	1,581,000	1,500,000	1,748,000	JICA委託事業	0	7,330,000	1,643,181
地球市民財団	950,000			ボランティア貯金		2,053,000	1,379,185
地球環境基金	3,003,000	5,150,000	3,455,000	その他の助成金	0		139,010
郵政ボラ貯収入	0	2,053,000	2,257,310	その他の事業費	30,450	-2,000,000	
JICA委託事業	0	15,160,000	15,158,255	ミャンマー事業費繰入損	4,884,522		2,603,895
その他の助成金		0	-103,880				
雑収入	0		564				
東日本大震災支援事業収入	12,950,545	13,100,000	7,206,765	東日本大震災支援事業費	8,957,789	11,692,000	3,397,055
支援金収入	7,688,140	4,000,000	2,206,150	直接事業費	8,957,789	11,692,000	3,397,055
助成金・補助金	5,262,100	9,100,000	5,000,000				
雑収入	305		615				
				事業費合計	61,535,881	53,977,500	32,539,711
				国内管理費	13,201,863	10,100,000	7,517,449
				人件費	10,460,428	8,000,000	5,628,323
				その他管理費	2,741,435	2,100,000	1,889,126
				奨学金事業管理費	2,472,200	2,500,000	2,913,983
				人件費	2,062,620	2,100,000	2,455,067
				その他管理費	409,580	400,000	458,916
				ミャンマ管理費	6,709,467	6,748,000	7,636,866
				人件費	6,104,869	6,148,000	6,983,132
				その他管理費	604,598	600,000	653,734
				国内地域開発管理費		3,100,000	5,999,988
				人件費		2,500,000	5,094,748
				その他管理費		600,000	905,240
				東日本大震災支援事業管理費	2,206,108	3,120,000	2,939,777
				人件費	1,801,982	2,400,000	2,639,267
				その他管理費	404,126	720,000	300,510
				管理費合計	24,589,638	25,568,000	27,008,063
				経常支出合計	86,125,522	79,545,500	59,547,774
				繰入金収入		-10,500,500	7,749,846
				寄付物品売却損			197,360
				当期収支差額	4,886,909	-10,500,500	1,906,575
				繰越収支差額	6,666,797	11,553,706	11,553,706
経常収入合計	91,012,431	69,045,000	53,901,863	次期繰越収支差額	11,553,706	1,053,206	13,460,281

5 期 連 続 損 益 比 較 表

事業	項目	H20/4~H21/3 20(2008)年度 第7期	H21/4~H22/3 21(2009)年度 第8期	H22/4~H23/3 22(2010)年度 第9期	H23/4~H24/3 23(2011)年度 第10期	H24/4~H25/3 24(2012)年度 第11期
管理部門	会費収入					3,198,000
	寄付金収入					4,155,652
	雑収入					39,810
	【収入計】	0	0	0	0	7,393,462
	人件費					5,628,323
	その他管理費					1,889,126
	【支出計】	0	0	0	0	7,517,449
	【収支差額】	0	0	0	0	-123,987
国内事業	会費収入	3,763,500	4,860,800	3,802,500	3,389,000	
	奨学金関係事業	1,657,912				
	国内事業	4,607,049	1,507,595	958,502	4,798,127	4,914,368
	補助・助成金収入	167,280	6,044,958	1,710,000	-646,737	
	委託金収入		3,189,000	5,025,000	6,410,000	2,102,812
	寄付金収入	805,084	326,420	611,199	281,425	
	雑収入	28,551	253,569	6,274	4,179	
	【収入計】	11,029,376	16,182,342	12,113,475	14,235,994	7,017,180
	国内事業	2,753,840	4,653,871	1,500,407	2,848,469	2,968,651
	人件費	8,250,636	8,066,383	9,754,789	10,460,428	5,094,748
	その他管理費	3,860,758	2,297,037	3,270,729	2,741,435	905,240
	【支出計】	14,865,234	15,017,291	14,525,925	16,050,332	8,968,639
【収支差額】	-3,835,858	1,165,051	-2,412,450	-1,814,338	-1,951,459	
奨学金事業	奨学金事業	4,619,500	4,669,800	5,671,615	4,401,270	942,075
	寄付金収入		26,351	680,304	276,430	2,928,640
	補助・助成金収入			400,000	390,000	800,000
	【収入計】	4,619,500	4,696,151	6,751,919	5,067,700	4,670,715
	奨学金事業費	3,458,629	2,415,218	4,700,838	2,638,980	2,985,910
	人件費	1,160,871	2,243,449	1,960,810	2,062,620	2,455,067
	その他の管理費			313,795	409,580	458,916
	【支出計】	4,619,500	4,658,667	6,975,443	5,111,180	5,899,893
【収支差額】	0	37,484	-223,524	-43,480	-1,229,178	
ミャンマー事業	自主事業収入	1,517,500	896,040	2,623,140	1,389,390	1,729,000
	委託事業	0				
	補助・助成金収入	24,405,328	20,336,080	38,818,836	51,972,237	22,673,170
	寄付金収入	7,858,263	3,074,545	3,892,324	3,417,828	3,211,007
	雑収入					564
	ミャンマー事業資金戻入益	5,028,275				
	ミャンマー事業費戻入益	2,897,521				
	【収入計】	41,706,887	24,306,665	45,334,300	56,779,455	27,613,741
	ミャンマー事業支出	25,624,247	21,543,269	36,914,456	41,153,620	20,584,200
	人件費	3,653,104	4,762,128	5,226,919	6,104,869	6,983,132
	その他の管理費	1,859,406	1,849,509	999,070	604,598	653,734
	ミャンマー事業費繰入損	4,856,733	-4,856,733	-2,642,590	4,884,522	2,603,895
	ミャンマー事業資金繰入損	3,505,591	1,635,461			
【支出計】	39,499,081	24,933,634	40,497,855	52,747,609	30,824,961	
【収支差額】	2,207,806	-626,969	4,836,445	4,031,846	-3,211,220	
韓国事業	自主事業収入	423,547	0	342,682	210,643	0
	助成金収入	292,000	0	714,607	1,768,094	0
	【収入計】	715,547	0	1,057,289	1,978,737	0
	事業支出	569,018	0	678,312	1,052,504	0
	【支出計】	569,018	0	678,312	1,052,504	0
【収支差額】	146,529	0	378,977	926,233	0	
東日本震災支援	自主事業収入	0	0	0		
	補助・助成金収入				7,688,140	5,000,000
	寄付金収入				5,262,100	2,206,150
	雑収入				305	615
	【収入計】	0	0	0	12,950,545	7,206,765
	直接事業費	0	0	0	8,957,789	3,397,055
	人件費				1,801,982	2,639,267
	その他の管理費	0	0	0	404,126	300,510
【支出計】	0	0	0	11,163,897	6,336,832	
【収支差額】	0	0	0	1,786,648	869,933	
	經常収入合計	58,071,310	45,185,158	65,256,983	91,012,431	53,901,863
	經常支出合計	59,552,833	44,609,592	62,677,535	86,125,522	59,547,774
	經常収支差額	-1,481,523	575,566	2,579,448	4,886,909	-5,645,911
	当期計上増減額	0	0	0	0	7,552,486
	繰越収支差額	4,993,306	3,511,783	4,087,349	6,666,797	11,553,706
	次期繰越収支差額	3,511,783	4,087,349	6,666,797	11,553,706	13,460,281

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 2013年3月31日現在

単位:USドル

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	26,947	12,373	前受金	1,750	5,725
銀行預金	0	6,818	預り金	1,270	1,270
現金預金合計	26,947	19,191	仮受金	191,769	13,296
立替金	0	1,100	流動負債合計	194,789	20,291
流動資産合計	26,947	20,291	固定負債合計	0	0
固定資産合計	0	0	負債合計	194,789	20,291
			正味財産	-167,842	0
資産合計	26,947	20,291	負債・正味財産	26,947	20,291

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自2012年4月1日 至2013年3月31日

単位:USドル

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	169,490	事業費	0
外務省NGO連携	136,542	管理費	2,302
その他の事業	1639	給料手当	
管理費	31,309	福利厚生費	918
雑収入	427	旅費交通費	667
		通信運搬費	703
		雑費	14
経常収入合計	169,917	経常支出合計	2,302
		経常収支差額	167,615
		繰越収支差額	0
		次期繰越収支差額	167,615

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)貸借対照表
2013年3月31日現在

単位:チャット

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	702,760	2,065,598	預り金	1,175,350	1,175,350
普通預金	8,671,543	885,475	仮受金		2,057,600
現金預金合計	9,374,303	2,951,073	小規模銀行基金	360,000	360,000
立替金	50,200	5,068,200	流動負債合計	1,535,350	3,592,950
短期貸付金	-1,448,833	0	固定負債合計	0	0
仮払金	4,931,000	2,860,000	負債合計	1,535,350	3,592,950
流動資産合計	12,906,670	10,879,273	正味財産	45,696,820	41,581,823
保証金	430,500	430,500			
長期貸付金	33,895,000	33,865,000			
固定資産合計	34,325,500	34,295,500			
資産合計	47,232,170	45,174,773	負債・正味財産	47,232,170	45,174,773

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)収支計算書
自2012年4月1日 至2013年3月31日

単位:チャット

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	298,419,730	事業費	290,923,892
タンボジ	12,821,600	タンボジ	13,378,345
ナウンカ	4,415,300	ナウンカ	3,953,150
NGO連携無償	97,344,100	NGO連携無償	97,013,517
ナウンシン入植村	1,268,000	ナウンシン	1,041,200
ボランティア貯	9,531,400	ボランティア貯	16,201,830
御厨基金	13,756,200	御厨基金	12,809,500
その他の事業	22,633,800	緑の募金	24,922,250
学校建設	5,160,000	各種ツアー	69,500
小規模給水事業	9,759,100	その他の事業	29,240,100
保育園建設	1,711,000	学校建設	10,103,800
TPAぎふ	6,003,700	ハムシーナウンシン給水	10,700,000
緑の募金	24,807,900	ナーリー村保育園	2,053,300
Win Yar	4,151,400	JAMAHA	-397,000
Lwe Taw	7,607,400	TPAgifu	6,280,000
Pindaya	13,049,100	Danu Scholarship	500,000
地球環境基金	22,612,800	地球環境基金	22,581,865
エコポイント	1,004,600	エコポイント	707,100
本庄小学校	1,010,400	ガナインシェー小学校整備	948,600
JAさがグループ	6,229,200	ヤンゴン野菜売上	11,000
JICA委託事業	55,804,755	加工品売り上げ	738,900
物販収入	272,000	JA事業(第2フェーズ)	7,337,000
参加費収入	385,000	JICA	59,970,035
事業収入	3,133,355	管理費	16,252,215
タンボジ	301,505	給料手当	6,740,000
ナウンカ	1,610,000	その他の管理費	9,512,215
ツアー受け入れ	65,000		
オープン事業	302,400		
地球環境基金	47,550		
ヤンゴン野菜売上	11,700		
加工品売り上げ	795,200		
雑収入	202,550		
寄付収入	648,475		
経常収入合計	303,061,110	経常支出合計	307,176,107
		当期収支差額	-4,114,997
		繰越収支差額	40,409,466
		次期繰越収支差額	36,294,469

ミャンマー事務所USドル
財産目録
 2013年 3月31日現在

単位:USドル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	19,191
現金 現金手許有高	12,373
普通預金	6,818
立替金	1,100
流動資産合計	20,291
資産合計	20,291
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	19,191
現金 現金手許有高	12,373
普通預金	6,818
立替金	1,100
流動資産合計	20,291
資産合計	20,291
【負債の部】	
流動負債	
前受金	5,725
ツアー手数料	4,050
寄付金収入	468
その他の資金	1,207
預り金	1,270
仮受金	13,296
タンボジ	-2,171
ナウンカ	-10,953
NGO連携無償	140,148
ニンニク銀行	56
ナウンシン入植デモファーム	15,767
ボランティア貯金	-263
TPAぎふ	6,098
御厨基金	2,097
坂井邦夫基金	82
その他の事業	-14,595
スタディーツアー	540
緑の募金	-19,022
管理費	-16,996
地球環境基金	-45,614
センター自立事業	16,410
JA第二フェーズ事業	23,244
JICA	-81,532
流動負債合計	20,291
負債合計	20,291
正味財産	0

ミャンマー事務所ミャンマーチャット
財産目録
 2013年 3月31日現在

単位:チャット



科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	2,951,073
現金 現金手許有高	2,065,598
普通預金	885,475
一般	176,551
特別	494,992
会計	213,932
立替金	5,068,200
仮払金	2,860,000
タンボジ研修センター	730,000
ナウンカ研修センター	1,360,000
地球環境基金	270,000
JICA	500,000
流動資産合計	10,879,273
固定資産	
その他の固定資産	
保証金	430,500
長期貸付金	33,865,000
養豚銀行	8,035,000
水牛銀行	17,500,000
ニンニク銀行	5,100,000
ナウンシン入植貸付金	1,130,000
その他の貸付金	2,100,000
その他の固定資産合計	34,295,500
固定資産合計	34,295,500
資産合計	45,174,773
【負債の部】	
流動負債	
預り金	1,175,350
仮受金	2,057,600
養豚銀行	1,300,000
ナウンシン農業支援貸付	757,600
小規模銀行基金	360,000
流動負債合計	3,592,950
負債合計	3,592,950
正味財産	41,581,823

決算に関する会計報告書

平成25年5月7日、特定非営利活動法人地球市民の会事務局において、定款第47条の規定により監査の結果、平成24年度（自平成24年4月1日～至平成25年3月31日）の会計ならびに決算報告書は適正であることを認めます。

平成25年5月7日

特定非営利活動法人地球市民の会

監事 田中進  印
古賀和夫  印

事業計画案および予算案

2013年4月1日～2014年3月31日

目次

- | | |
|-------------------------------|------|
| ◆ 活動方針と重点事業 | -P28 |
| ◆ 今年度の実現したいこと、乗り越えるべき課題 | -P29 |
| ◆ 平成25年度（2013年度）事業計画 | -P30 |
| ◆ 平成25年度（2013年度）予算案 | -P31 |
| ◆ 平成25～27年度（2013～2015年度）3ヵ年計画 | -P32 |

認定 NPO 法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

30周年事業とともに会員・サポーターを拡大しよう

重点事業

- ① 中山間地元気再生事業の実施
- ② 中国交流事業「TOMODACHI100」の実施と成功
- ③ ラオス事業立案と事前調査
- ④ Web サイトの充実と会員、サポーターとの関係性を深める
- ⑤ リスクマネジメントマニュアルを作成設置する

事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項

- 2年後のハンドオーバーへ向けての基盤整備
(コミュニティビジネスを軸とした自立事業への移行)

タイ事業重点事項

- 新奨学金プログラムの始動

スリランカ事業重点事項

- 交流プログラムの継続(本年度ツアー実施)

地球市民の会事業理念

- 1、事業評価を深め、会員の「感動満足度」を高めよう
- 2、会員以外の地域の人々に感動体験・感動情報を提供しよう
- 3、経営の「カイゼン」「組織統治(ガバナンス)向上」に挑戦しよう

平成 25(2013)年度の実現したいこと、乗り越えるべき課題

◆ ミャンマー事業は成果を可視化させます。

ミャンマー事業はいよいよあと 2 年で 10 年続けた「循環型共生社会の創造事業」にピリオドを打ちます。私たちはよそ者で、いつまでもその地にいるわけにはいきません。開発事業は終わらせなければならないという鉄則があるからです。コミュニティビジネスを通じた地域の自立というゴールに向けて、具体的なビジョンをもって、可視化された成果を出していきます。

◆ 中国の大学生と大学の先生 100 名を佐賀に迎えます。

昨年度佐賀空港と上海を結ぶ LCC（格安航空会社）を活用した国際交流の可能性を調査し、上海の大学や行政、佐賀県や周辺市町と話し合い、本年 8 月に日本語を学ぶ上海、杭州の大学生と日本語学科の先生 100 人が佐賀に集う事業の実施が合意されました。事業内容はホームステイをしながら日中韓の大学生がアジアにおける互恵的未来を語り合います。事業の目的は日中韓の若者の心にアジアの未来の平和を作る種をまくことです。故・古賀武夫永久名誉会長存命なら必ず仕掛けたであろうプロジェクトです。

◆ 中山間地の元気再生事業「オリーブ・プロジェクト」実施します。

中山間地では高齢化による限界集落化リスクのある集落がたくさんあります。豊かな自然、長い歴史に裏付けられた文化、人と森が共生した智慧が伝承されることなく消えていこうとしています。消えてしまったからでは復活は難しくなります。私たちは富士町、三瀬、吉野ヶ里で耕作放棄地および休耕地でオリーブを植林し、持続可能な地域開発事業を実施します。地域住民の意識の高い集落に焦点をあて、参加型開発の手法で行っていきます。この事業は特にオリーブオーナー制度を通して都市部の方々の参加、そして離郷者の吸引によって展開する必要があります。コミュニティビジネスとして事業化を図りながら様々な団体、組織と協働し、会員の皆様の協力で実施していきます。資金調達を様々な方面にアプローチしていきます。

◆ ラオス事業を立案します。

カンボジア、ミャンマーとチャイナリスクの前に空前の投資ブームが企業間でも国際協力の世界でも起こっています。その一方 ASEAN のお荷物と言われているラオスが世界から忘れ去られるリスクも生じています。豊かな自然と実直な人。そして、自分たちには何もない、という劣等感。これは、日本の地方の姿を重ね合わせてしまいます。ラオスの支援は地球市民の会がするべきものだと考えます。地球市民の会にはミャンマーで蓄積したノウハウがあります。今年、本格的な調査と立案を実施します。

◆ 会員との触れ合う機会をもっとたくさん作ります。

昨年復活した 11 月の「会員の集い」を今年も実施します。また、「ミャンマーの集い」「タイの集い」を計画的に実施します。ホームページをリニューアルは 6 月には公開します。また、フェイスブックページの「いいね」を 600 にします。

◆ 資金調達委員会を開催します。

財務構造の健全化を目指し、理事会内に立ち上げられた資金調達委員会を理事以外にも加わっていただき会合を開催します。

◆ 東日本大震災復興支援事業を継続します

被災地の女性と子どもを支援する「ハッピーストック・プロジェクト」引き続き実施します。

平成25年度事業計画書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
国内地域開発事業		
中山間地元気再生事業	通期	オリーブ苗オーナー制度による耕作放棄地の活用事業
韓国事業(新カチガラス事業)	8月	韓国人大学生と日本人大学生の交流事業
中国事業(TOMODACHI 100プロジェクト)	8月	中国人大学生を招聘し、佐賀県全体での交流事業
絵本販売	通期	幸せを売る男の拡販事業
講師派遣事業	通期	学校・各種団体への講師派遣
委託事業	通期	行政からの委託事業の実施(未決定)
奨学金関連事業		
奨学会費	通期	タイ・スリランカの中学・高校生への奨学金支給
チャリティショップ	通期	アジアの子ども達の教育環境改善を目的としたセカンドハンドショップ運営
スタディツアー	通期	奨学金支給地・チャリティーショップ支援地の視察
教育環境改善プロジェクト	12月	図書館プロジェクトの本の補充
ミャンマー事業		
農業畜産支援事業		
循環型共生社会の自立発展	通年	循環型農産物のマーケット構築、協同集荷・出荷の農民組織のシステム化(国際協力機構 草の根技術協力パートナー型)
タンボジ農業畜産研修センター	通年	循環型農業普及事業の拠点運営、農村リーダー育成のための青少年(高校生)育成事業
ナウンカ村落開発センター	通年	農民対象の短期・長期研修の実施、モデルファームの充実、有機資材生産場の運営
ナウンシンデモファーム	通年	入植者のモニタリング、JICA事業に組み込み、農産物の販促
小規模銀行支援事業	通年	銀行事業実施村における小規模給水、共同農園の堆肥資材支援
開発事業		
インレー湖周辺村の給水事業	6月～	インレー湖上63村への飲料水の配水事業、循環型農業研修、保健衛生研修の実施(外務省NGO連携無償資金)
教育支援・人材育成事業		
学校建設・保育園建設	通年	カンカウ準中学校建設、タウンピョー保育園建設(予定)
農村女性のための自立支援事業	4月～3月	タンボジ地域における、カゴ編み、蜜蝋加工、食品加工などを通じた女性の生活向上事業
環境保全事業		
緑化事業	通年	コンロン地域の薪炭林造成事業(～6月)、インレー湖周辺地域における小規模緑化事業実施(1万本程度の植林予定)
交流事業	9月、3月	TPAスタディツアー実施、鹿児島大学受入など
コミュニティビジネス事業	通年	今後の自立発展のための各事業のコミュニティビジネス化の検討
ラオス事業		
事業立案調査事業	通年	ラオス南部LCV地域での地域開発事業の調査
東日本大震災支援事業		
ハッピーストックプロジェクト	通期	女性の視点で女性を支援する事業
想いのプラットフォームプロジェクト	通期	インターネット、ICTを使った広報事業

特定非営利活動法人 地球市民の会

平成25年度 活動予算書

自 平成25年4月1日 ~ 平成25年3月31日

収支概要表

収入		支出		単位:円
管理部門	1、会費収入	4,000,000	人件費	5,600,000
	2、寄付金収入	4,000,000	その他の経費	2,000,000
	収入計	8,000,000	支出計	7,600,000
国内地域 活性事業	2、寄付金収入	1,000,000	事業支出	17,800,000
	オリーブ株オーナー寄付	1,000,000	中山間地元気再生事業	6,000,000
	3、助成金収入	2,000,000	韓国事業費	375,000
	中国事業助成金・補助金	2,000,000	中国事業費	10,125,000
	4、委託金収入	10,500,000	夏のキャンプ事業	1,200,000
	中山間地元気再生事業	10,500,000	講師派遣事業費	100,000
	5、自主事業収入	13,600,000	事業管理費	9,000,000
	韓国事業収入	600,000	人件費	7,500,000
	中国事業収入	11,500,000	その他の経費	1,500,000
	夏のキャンプ事業	1,500,000		
収入計	27,100,000	支出計	26,800,000	300,000
奨学金 事業	2、寄付金収入	2,004,000	事業支出	3,835,500
	奨学会会費	1,854,000	タイさとおやツアー	1,402,500
	教育基金	150,000	スリランカさとおやツアー	892,500
	3、助成金収入	500,000	奨学金関連	1,112,400
	5、自主事業収入	3,000,000	現地調整費	278,100
	タイさとおやツアー	1,650,000	自立発展事業	150,000
	スリランカさとおやツアー	1,050,000	事業管理費	3,000,000
	チャリティショップ	300,000	人件費	2,500,000
		その他の経費	500,000	
収入計	5,504,000	支出計	6,835,500	-1,331,500
ミャン マー 事業	2、寄付金収入	4,560,000	事業支出	109,130,000
	教育支援	1,500,000	JICA循環型共生社会の自立発展	11,000,000
	JA農業支援	1,000,000	タンボジ農業畜産研修センター運営	1,300,000
	タンボジ奨学金	1,300,000	ナウンカ村落開発センター	1,100,000
	エコポイント	760,000	インレー湖給水事業	84,000,000
	3、助成金収入	89,232,000	学校建設・保育園建設	3,000,000
	ボランティア貯金	1,572,000	農村女性のための自立支援事業	1,400,000
	緑の募金	1,700,000	緑化事業	2,930,000
	大阪コミュニティ財団	760,000	JA農業支援	900,000
	外務省NGO連携無償資金協力	85,000,000	スタディツアー	1,000,000
	その他	200,000	インレー湖環境保全事業	2,500,000
	4、委託金収入	17,250,000	事業管理費	7,700,000
	国際協力機構	17,250,000	人件費	7,000,000
5、自主事業収入	1,200,000	その他の経費	700,000	
スタディツアー	1,200,000			
収入計	112,242,000	支出計	116,830,000	-4,588,000
ラオス 事業	2、寄付金収入	1,000,000	事業支出	1,500,000
	事業オーナー寄付	1,000,000	現地調査モニタリング費	1,500,000
	3、助成金収入	1,000,000	事業管理費	500,000
	外務省調査助成金	1,000,000	人件費	300,000
			その他の経費	200,000
収入計	2,000,000	支出計	2,000,000	0
東日本 震災支援 事業	2、寄付金収入	100,000	事業支出	2,100,000
	東北親子招聘寄付	100,000	東北親子招聘事業	1,800,000
			だいでんいっしょプロジェクト	200,000
			よかとこさがプロジェクト	100,000
			事業管理費	700,000
			人件費	420,000
			その他の経費	280,000
収入計	100,000	支出計	2,800,000	-2,700,000
総計	154,946,000		162,865,500	
	当期正味財産増減額		-7,919,500	
	前期繰越正味財産額		13,460,281	
	次期繰越正味財産額		5,540,781	

収入		
1、会費収入	4,000,000	3%
2、寄付金収入	12,664,000	8%
3、助成金収入	92,732,000	60%
4、委託金収入	27,750,000	18%
5、自主事業収入	17,800,000	11%
収入総額	154,946,000	
支出		
1 事業費	155,265,500	95%
事業支出	134,365,500	87%
人件費	17,720,000	11%
その他の経費	3,180,000	2%
2 管理費	7,600,000	5%
人件費	5,600,000	74%
その他の経費	2,000,000	26%
支出総額	162,865,500	
当期正味財産増減額	-7,919,500	
前期繰越正味財産額	13,460,281	
次期繰越正味財産額	5,540,781	

地球市民の会の達成目標

「地球市民として、足るを知り、他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人が地域・日本・世界で活動している。」

地球市民の会 2021年の達成目標

2013年から9年後に地球市民の会がどうなっているべきかのゴールの姿を4つの視点で策定いたしました。

海外事業

対象国(タイ、スリランカ、ミャンマー、ラオス)にそれぞれの国のソーシャルワーカーが中心になって主体的に運営されている各国地球市民の会が出来ていて、日本の本部と対等に地球市民運動が出来ている状態

国内事業

地域の課題解決のために、国際交流と地域活性化事業を通して、地球市民意識(相互理解と相互扶助)を持った社会ができています
指標: 持続的な国際交流と地域活性化事業の実施地域ができています

人材育成

地球市民運動を実践する次世代の人材が育成され、地球市民運動を発信できる外部の拠点ができています
指標: 地球共感教育の提携校ができています
TPAコースが組織内にできています
佐賀大学等に国際協力サークルができています。
婦人会などに国際協力の女性グループができています

組織の持続的発展

社会を変革する組織として支持され、安定的な自立経営継続している
※この項目は、組織のファンドレイジング、アカウントビリティ、ガバナンスにかかるディスカッションでロジックモデルに欠落されていた。会議では言及されていないが、具体的な活動内で議論された経緯から加えることとした。

2015年の各事業の達成目標 ～3年間に達成する目標です～

ミャンマー事業

これまでのノウハウをベースとした地域が主体となったコミュニティビジネスとアジア自然学校ミャンマーが成立し、運営できる体制となっていて、TPAミャンマーの準備が整っている。

タイ事業

2015年に支給が終わるタイ奨学金のこれまでの総括がなされ、新奨学金事業の大学生への支給が始まる。

TPAタイが出来ている。

チャリティショップ「ぱーん・たわん」がニューポーン以外にも独立店舗を持って運営されている。

スリランカ事業

一年ずつの交流事業が毎年実施され、奨学金の新規募集人数が__人(人数の確定まではいたっていません)になっている。

ラオス事業

ラオス事業が立案、実現され、JICAの草の根パートナー型が採択されている。

中山間地元気再生プロジェクト

オリーブ事業が他の地域活性化事業の中核となりつながりあっている。

オリーブが中山間地の休耕田・耕作放棄地に植栽されている。

オリーブの事業が他団体との協働事業となっている。

国際交流地域活性化事業

事業が3年間継続され、ホストファミリーの数が150軒を超えている。

東日本大震災支援事業

当初の支援するマインドが続いており、被災地とつながりながら、佐賀で情報発信がなされており東北にTPAの拠点が出来ている。災害支援体制を整えている。

地球共感教育事業

講師派遣を3年間で90箇所実施し、ふるさとステイ事業が継続的に実施され、__箇所の集落で__人の参加者が3年間にあり、保護者が__人会員になる。(数値はこれから確定させます)

企業・行政協働事業

ミッションに合った協働事業が実施されている。企業とはソーシャルビジネスやCRMなどに焦点を絞り、企業の社会貢献事業での協働が展開されている。

資金調達・ファンドレイジング

国内管理費は会費と会への寄付金でカバーされている。寄付は会への寄付40%、事業への寄付60%とし、収入比率を会費・寄付: 助成委託: 自主事業 = 3: 4: 3の比率にする。

会員サービス事業

2ヶ月に一回は会員を対象にした集まれるイベントが実施されている。DRMが導入され有効に活用されている。

ガバナンス強化

地球市民の会の対外的信用は高まり、九州の代表的NGOとしての地位を確立する。

ソーシャルメディア

地球市民の会の活動を知る人が増え、ソーシャルメディアが連動しフェイスブックページの「いいね」が1000となり、ツイッターのフォロワーも1000を超える。

広報出版事業

地球市民の会を説明できる資料がそろっている。

組織体制

理事の自己実現の場としての団体となり、世代交代された事務局は理事会の意思実現機関として機能する。

特定非営利活動法人地球市民の会 平成25年度役員

名誉職

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	古川 康	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市役所	市長

顧問

50音順

新任

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	伊万里学園・敬徳高校	理事長
顧問	今泉 由紀夫	佐賀県国際交流課	課長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	学校法人佐賀清和学園	理事長
顧問	大草 秀幸		
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	川崎 稔	参議院	議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	佐伯 義統	社会保険労務士 佐伯社会保険労務士事務所	所長
顧問	坂井 学	衆議院	議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭歌之介	落語家	
顧問	豊田 泰光	野球評論家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	社長
顧問	佛淵 孝夫	国立大学法人佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	ヒラユコーポレーション	代表取締役社長
顧問	福岡 資麿	参議院	議員
顧問	保利 耕輔	衆議院	議員
顧問	マリ クリスティーヌ	有限会社 エムキューブインターナショナル	
顧問	牟田 清敬	牟田法律事務所	弁護士

評議員

50音順

新任

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
評議員	有岡 大介	(株)サガテレビ	主任
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	田島 広一	田島興産株式会社	代表取締役
評議員	富吉 賢太郎	佐賀新聞社	編集局長
評議員	原 康彦	佐賀県議会	議員
評議員	平野 喜幸	蓮華院誕生寺	れんげ農苑農苑長
評議員	深川 千幹	佐賀市立思斉館 中学部	
評議員	藤 雅仁	株式会社七浦 / 道の駅鹿島	統括部長／事務局長
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所	
評議員	満岡 聰	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	代表取締役社長
評議員	百生 詩緒子	独立行政法人 国際協力機構	専門家(タイ)

特定非営利活動法人地球市民の会 平成25年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
会長	佐藤 昭二	一般社団法人 ふる里再生協会	専務理事
副会長	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
理事長	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
専務理事	大野 博之	特定非営利活動法人地球市民の会	事務局長
理事	青柳 達也	古賀英語道場	代表
新任 理事	五十嵐 勉	国立大学法人佐賀大学 全学教育機構	准教授
理事	稲富 正人	佐賀県自治修習所	所長
理事	古賀 大之	一般社団法人 和スポーツクラブさが	理事長
理事(兼任)	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
新任 理事	高橋 良輔	国立大学法人佐賀大学 文化教育学部 国際文化課程	准教授
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県庁 くまもとブランド推進課	
理事	西村 一守	Produce Office Nishimura PON	代表
理事	西村 尚子	西村歯科医院	
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
新任 理事	松前 あかね	グローバルブリッジ	代表
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役
理事(兼任)	山口 久臣	一般社団法人 アイ・オー・イー	代表理事
監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
監事	古賀 和夫	有限会社 ニューポーン新古賀	代表取締役

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。

専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断します。総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行いません。理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

2012年度までで退任された役員

長期にわたり、地球市民の会を支えていただきありがとうございました。これからも温かく見守りください

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
顧問	古川 弘典	三重県・御浜町	町長
顧問	伊藤 榮彦	京都科学カフェ	代表
顧問	片渕 義孝	佐賀市国際交流室	国際交流室長
評議員	弥富 雅信	鶴田病院	理学療法士
評議員	橋村 エリザベス		
評議員	丸田 祐子	七賢人の里 おへそ保育園	保育士主任

地球市民の会 29 年の歴史

- 1973 年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980 年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983 年 「地球市民の会」設立
- 1986 年 第 1 回小さな地球計画開始
- 1987 年 日タイ協力事業開始
- 1988 年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990 年 地球市民奨学金開始
- 1992 年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993 年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995 年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002 年 NPO 法人格取得
- 2003 年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008 年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009 年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009 年 佐賀市中山間地元気再生事業開始
- 2010 年 国税庁より認定 NPO として認定
- 2011 年 ASC2008 認証
- 2011 年 東日本大震災復興支援事業開始



地球市民の会 主な褒章

- 1988 年 サントリー地域文化賞
- 1989 年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994 年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996 年 自治大臣表彰
- 1996 年 厚生大臣感謝状
- 2000 年 外務大臣表彰
- 2003 年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006 年 地球倫理推進賞
- 2006 年 文部科学大臣奨



地球市民の会組織図 2013年度

